



平成30年12月28日(金)  
午前10:00 解禁

平成30年12月27日(木)

【照会先】

大分労働局職業安定部

部長 越橋 健太郎

労働市場情報官 石井 晴次

電話 097-535-2090(内線313)

報道関係者 各位

## 大分県の雇用情勢（平成30年11月分）

### ○ 有効求人倍率 「1.57倍」 （前月比0.04P上昇）

- ・ 4か月ぶりに上昇し過去3番目の高い水準を維持
- ・ 正社員有効求人倍率 過去最高値を更新し1.29倍  
（九州ブロックで11か月連続1位）

- ・ 県内の雇用情勢は、着実に改善が進んでいる。
- ・ 有効求人倍率（季節調整値）は、前月（1.53倍）を0.04ポイント上回り、4か月ぶりに上昇し、過去3番目の高い水準を維持。
- ・ 有効求人倍率（季節調整値）は、平成27年2月から46か月連続で1.0倍以上。
- ・ 有効求人数（季節調整値）は、前月比2.6%増と3か月ぶりの増加。
- ・ 有効求職者数（季節調整値）は、前月比0.5%増と3か月連続の増加。
- ・ 正社員有効求人倍率（原数値）は、前年同月比0.14ポイント上回り、過去最高値を更新。
- ・ 就業地別有効求人倍率（季節調整値）は、前月比0.03ポイント上回り、4か月ぶりの上昇。

（※平成29年12月以前の季節調整値は、新季節指数により改訂されています。）

#### 1. 求人倍率の状況

- (1) 11月の有効求人倍率（季節調整値）は、有効求人数（同）が27,824人と前月に比べ2.6%増加し、有効求職者数（同）は17,774人と前月に比べ0.5%増加となったことから、前月を0.04ポイント上回り **1.57倍** となりました。（昭和38年1月から集計）
- (2) 正社員有効求人倍率（原数値）は、前年同月を0.14ポイント上回る **1.29倍** となり、平成29年6月から18か月連続の1倍台を維持しました。（平成17年4月から集計）
- (3) 就業地別有効求人倍率（季節調整値）は、前月を0.03ポイント上回る **1.71倍** となり、4か月ぶりに上昇しました。（平成17年2月から集計）

#### 2. 求人の状況

新規求人数（原数値）は9,889人と前年同月比で **14.6%増加** しました。

これを主要産業別で見ますと、情報通信業（48.9%）、生活関連サービス業、娯楽業（20.3%）、建設業（18.9%）、製造業（16.6%）、サービス業（16.4%）、医療、福祉（12.2%）、宿泊業、飲食サービス業（11.3%）、卸売業、小売業（4.7%）、運輸業、郵便業（1.3%）で増加となりました。

#### 3. 求職の状況

新規求職申込件数（原数値）は3,955人と前年同月比で **5.2%減少** しました。

このうち常用フルタイム新規求職者数（同）は2,524人と前年同月比で7.5%減少しました。

内訳は、在職者967人（5.5%）、離職者1,404人（▲4.7%）、無業者153人（▲34.1%）となっています。

離職者を離職理由別にみますと、事業主都合267人（▲16.0%）、自己都合1,068人（▲2.7%）となりました。

#### 4. ハローワーク別有効求人倍率の状況

ハローワーク別の有効求人倍率（原数値）をみますと、最高は大分所の1.85倍（前月：1.83倍）、最低は別府所の1.22倍（同：1.19倍）となりました。

#### 5. 雇用保険受給者の状況

雇用保険受給者実人員については、4,264人と前年同月比で **3.4%減少** しました。